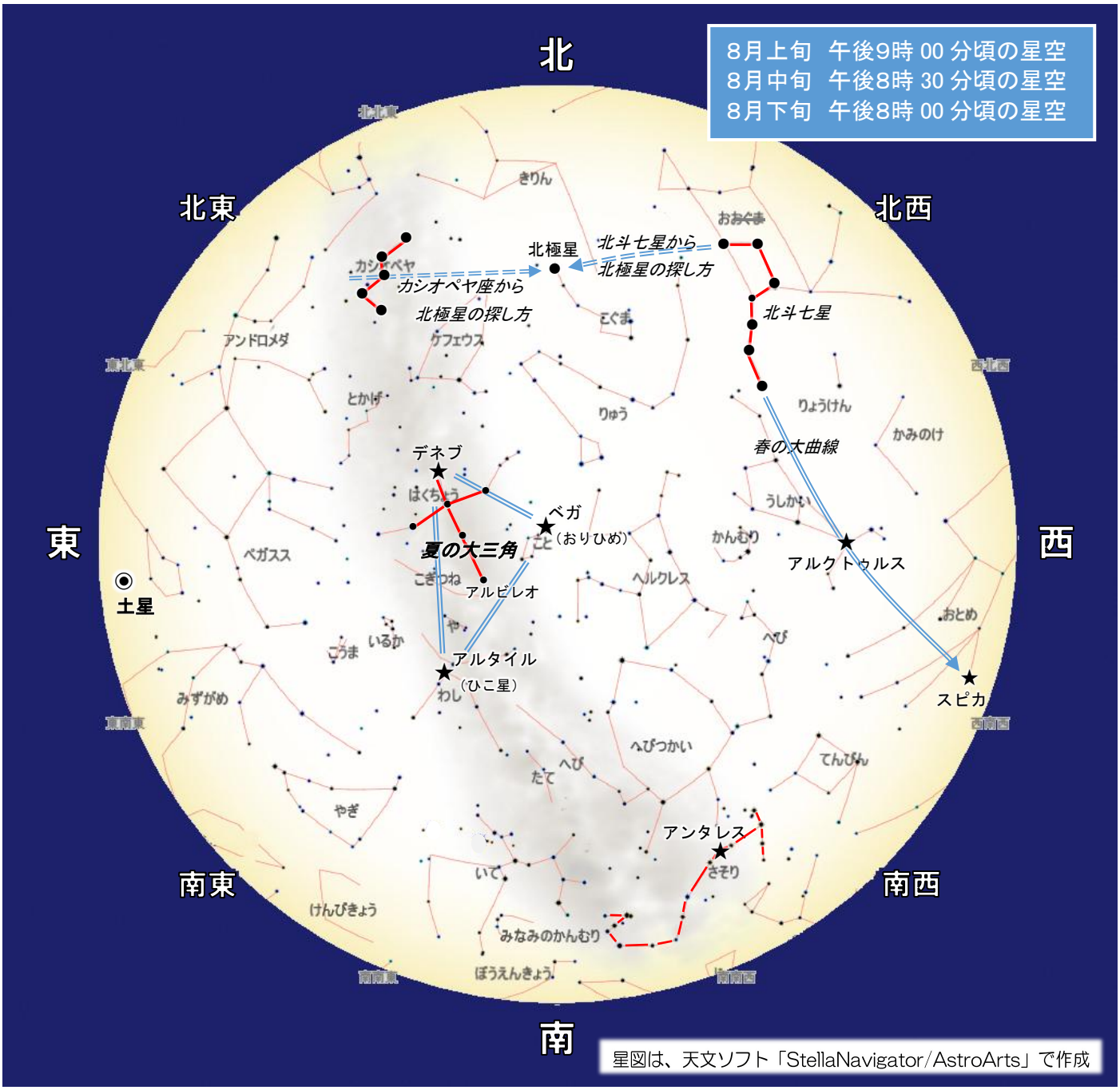
2026年 8月の星空案内



【8 月の星空】

天頂付近に「夏の大三角」が輝きます。七夕の星として知られること座の「ベガ(おりひめ星)」、わし座の「アルタイル(ひこ星)」、そして、はくちょう座の「デネブ」を結んだ星の並びです。もともと七夕は旧暦7月7日(今年は８月１９日)の行事で、この日を「伝統的七夕」と呼びます。はくちょう座のくちばしにあたる「アルビレオ」は二重星、望遠鏡で見ると黄色い３等星と青い５等星が寄り添う姿が見られ、宇宙の宝石とも呼ばれています。

【ペルセウス座流星群（条件：最高）】

毎年夏に見られる３大流星群の１つ『ペルセウス座流星群』ですが、今年のピークは１３日(木)の昼 11 時頃と予想されていますので、１２日の夜ふけから翌１３日の夜明け頃が見頃です。今年は月明かりがないので、一晩中最良の条件です。流星は暗い場所ほどたくさん見ることができるので、肉眼で天の川が見えるような場所にでかけて夜空を眺められれば最高です。ただ、市街地でも全く見られないというわけではないので、ぜひ流星観察にチャレンジしてください。ペルセウス座は北北東からのぼってきますが、流星は四方八方に飛ぶので、空全体を眺めるのがおすすめです。

さいたま市青少年宇宙科学館